

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「あなたが印象に残っている先生は？」

特別支援教育の扉No.41の「とれたて直送便」で紹介した2つのクイズを覚えていますか。

Q1：人は（ ? ）の数だけ幸せになれる。「西洋の古いことわざ」

ヒント①：今まで何度もやっている。

ヒント②：一人ではできない。

ヒント③：仲間が集まったときや小さな祝い事で行う。

ヒント④：漢字二文字。

ヒント⑤：他人同士を「仲間」にしてしまう不思議な力がある。

A：乾杯

Q2：子どもは（ ? ）の数だけ幸せになれる。

A：正解はありません。どうしても気になって眠れない人は連絡をください。

答えが気になって眠れない人たちから寄せられた言葉を紹介します。

希望、挑戦、安心、遊び、夢、優しさ、悲しみ、笑顔、親の笑顔、ありがとう、成功体験、楽しい思い出、信頼できる人・・・でした。どれも正解であり、大切なことばかりです。私が考えていた言葉は、「素敵な先生との出会い」でした。

関連して、研修会で「あなたが今でも印象に残っている先生は？」と質問すると、

- ・授業が面白かった、分かりやすかった
- ・いつも笑顔でほめてくれた
- ・話をよく聴いてくれた
- ・親身に相談にのってくれた、励ましてくれた
- ・小さな頑張りを認めてくれた
- ・自分の体験談を紹介してくれた など

これらをまとめると、みんなに共通する指導に加えて、子ども一人一人に合わせた配慮（えこひいき）が自然にできた先生といえるのではないのでしょうか。

次に「あなたが学生時代に印象に残っている思い出は？」と質問すると、ほとんどの人は辛いことよりも楽しかった思い出を発表します。しかし、自閉症スペクトラム症等の発達障害のある人は、できた喜びよりも、失敗したり怒られたりしたマイナスの記憶が残るので、辛かったことを紹介することが多いそうです。しかも、過去の辛い思い出が何かのきっかけで突然、今あったように蘇ってくる場合があります。振り返る力が弱いので、何がよかったのかを具体的に言葉で伝えること、失敗から学ぶことが苦手なので、必ず成功体験で終わることが大切です。もうすぐ新年度がスタートします。子どもたちは「素敵な先生との出会い」にワクワク、ドキドキしています。



とれたて直送便



～ある園長先生のお話～

○その1：「今のパパたち」

運動会のテント張り作業のとき、今のパパたちは、大型パイプ TENT を組み立てた経験がないので、一斉にスマホを取り出してテントの組み立て方を調べるそうです。道具を運搬するとき、「軽トラックはマニュアル車なので運転できません」と話すパパたちもいるそうです。

○その2：「今の子どもたち」

お店屋さんごっこをすると、今の子どもたちは、お金を出して「お釣りは〇〇円です」というやりとりをせず、スマホを取り出すまねをして、「ピッ！」と声を出してキャッシュレス決済をするそうです。

分からないことがあればYouTubeで解説動画を参考にする、買い物や交通機関を利用するときにタッチ決済をするなど、これからはスマホ等を使いこなす力が必要となります。しかし、人と関わる体験や自然遊びなどのアナログ体験が共感力と創造力を育みます。デジタル体験とアナログ体験のそれぞれのメリットをうまく使い分けて教えることが大切です。経験とは体験を通して「分かった！」と感ずること、そして、経験がその人を創り出します。